

# 環境・安全報告書



Environmental And Safety Report

2009

# INDEX

- 目次 -

1. 編集方針 / 報告対象範囲	1
2. トップメッセージ	2
3. 会社概要	3
4. 基本理念	4
5. 環境マネジメントシステム	5
6. 2008年度環境目標及び活動実績	6
7. 環境配慮型製品の提供	7
8. 地球温暖化ガスの排出削減	9
地球温暖化ガスの排出削減、 個別のエネルギー使用の削減結果	
9. その他の環境負荷低減活動	11
省資源活動、廃棄物の排出削減	
10. 環境リスクマネジメント	12
11. 環境教育	13
12. 環境監査	15
13. 環境コミュニケーション	17
14. 地域貢献・工場独自の活動	19
15. 安全衛生管理	21
16. 環境負荷マスマバランス	24

## 編集方針

凌和電子(株)は、当社の環境活動をご紹介する目的で毎年環境報告書を発行して参りました。今回4回目となりましたが、この2008年度版は昨年度より体制も新たに活動してきました安全衛生活動を加え、環境安全報告書としてまとめました。

又、内容は、中期計画に基づき重点目標とした「環境配慮型製品の提供」及び「地球温暖化ガスの削減」等の活動と共に、地域社会との共生として地域貢献活動や行政施策へも積極的に関わってきましたのでこれらのご紹介も含めております。

尚、レイアウト等については、より見やすさ、読みやすさを目指しました。

本報告書は、環境省「環境報告ガイドライン～持続可能な社会を目指して～(2007年版)」を参考としています。

## 報告対象範囲

### 報告対象期間

2008年7月1日～2009年6月30日  
(2008年度)

### 報告対象

凌和電子株式会社  
(本社、本社工場、元町工場、山形工場)

# 2

## トップメッセージ



当社は「地球環境の保護・保全」を重要な経営課題の一つと位置づけ、常に環境を意識したものづくりとサービスの提供を行うことで、環境にやさしい、環境と調和が取れた企業活動を継続・推進していきます。

代表取締役社長

西田 仁司

環境安全報告書2009年版を発行するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

平成20年度、アメリカに端を発する世界金融危機の影響で、計測・制御機器メーカーとしての当社もかつて無い経営環境に見舞われております。一方、地球環境問題、とりわけ地球温暖化問題は益々深刻なものとして、低炭素社会への転換等の対策を世界中が議論しています。今年のはわが国においても政権交代がなされましたが、新政権からは温室効果ガスを2020年迄に25%削減(90年度比)という、従来より更に厳しいメッセージが世界に向けて発信され、個々の企業へも今後尚一層の努力と義務が求められていくものと考えます。

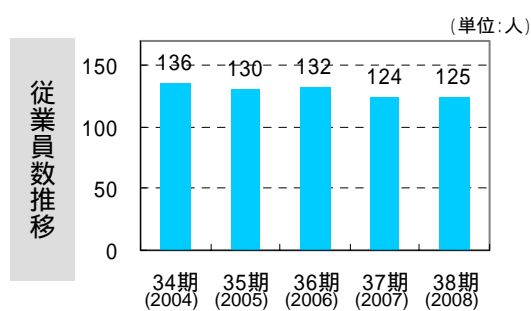
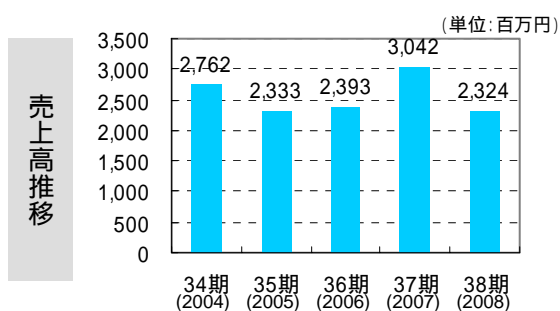
このような経営環境の中、当社におきましても、創立以来の企業理念である「創造と奉仕の精神」を礎とし、あらゆる形でお客様及び社会の要請に応えるべく努力してまいりました。その中の環境保全分野では、従来より重点的に取り組んでいる「環境配慮型製品の提供」や「地球温暖化ガスの排出削減」等に加えて、社員の環境意識の向上や地域社会への貢献などにも力を入れてきました。又、CSRに向けての一環として安全衛生活動にも力を入れてきました。一昨年再構築した安全衛生活動を2008年度はシステムの活動として定着させ、社員の安全と健康を守っています。

本報告書は2008年度の当社の環境安全活動内容をまとめたものです。本報告書を通じて当社の活動をご理解いただくと共に、是非忌憚の無いご意見を賜りますようお願い申し上げます。

# 3

## 会社概要

創立	昭和47年 7月28日
資本金	7000万円
役員 (2009年9月1日現在)	代表取締役会長 安藤 正如 代表取締役社長 安藤 仁司 専務取締役 中島 正美 監査役 浅野 秀一
事業内容	省力化用機器、制御装置設計製作、工業用電子計測機器類設計製作、各種PCボードパターン設計製作及び実装、マイクロコンピュータ応用制御システム及び計測システム設計製作、自動機システム設計製作、磁性材料計測システム、画像処理技術、各種情報処理
規模	(本社)敷地:1274.03㎡(約386.1坪) 建屋:1098.24㎡(約332.8坪) (元町)敷地:1717.40㎡(約520.4坪) 建屋:1055.22㎡(約319.8坪) (山形)敷地:1866.94㎡(約565.7坪) 建屋:741.50㎡(約224.7坪)
沿革	1972(S47) 凌和電子株式会社設立(仙台市舟丁) 1989(H1) 仙台市鶴代町に東部工場開設 1999(H11) 山形市高原町に山形工場を建設 2000(H12) 仙台市若林区六丁の目元町に元町工場を開設 2001(H13) ISO9001:1994認証取得 2006(H18) ISO14001:2004認証取得 2006(H18) 東部工場を元町工場に併合 2008(H20) ISO9001維持審査、ISO14001更新審査受審(認証継続)



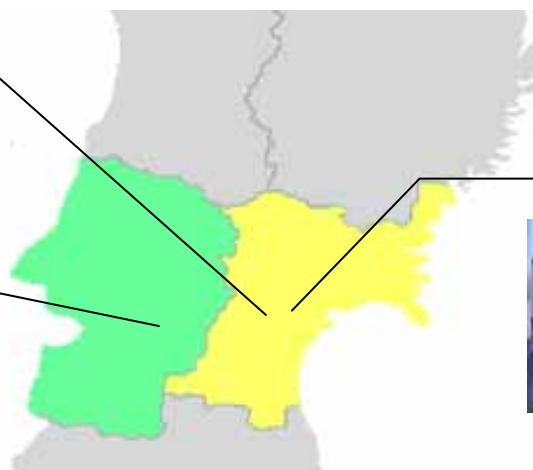
### 本社・本社工場

仙台市若林区南材木町



### 山形工場

山形県高原町



### 元町工場

仙台市若林区六丁の目

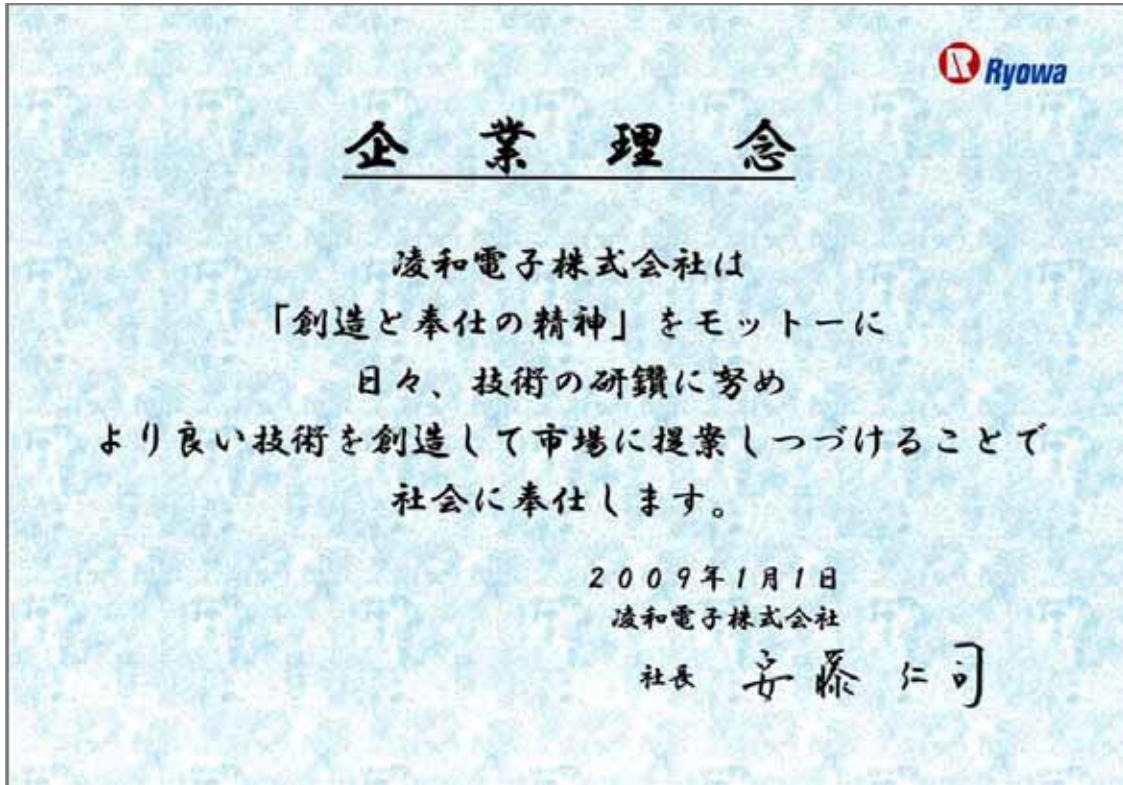


# 4

# 基本理念

## 基本理念

当社は、創業以来「創造と奉仕の精神」を企業理念に掲げ、日々の研鑽に努めることによって社会に貢献することをお約束しています。これに基づき経営品質方針及び環境方針を定め、具体的活動に結び付けています。尚、2009年7月には新たに中期経営方針を定め、より明確な目標を掲げています。



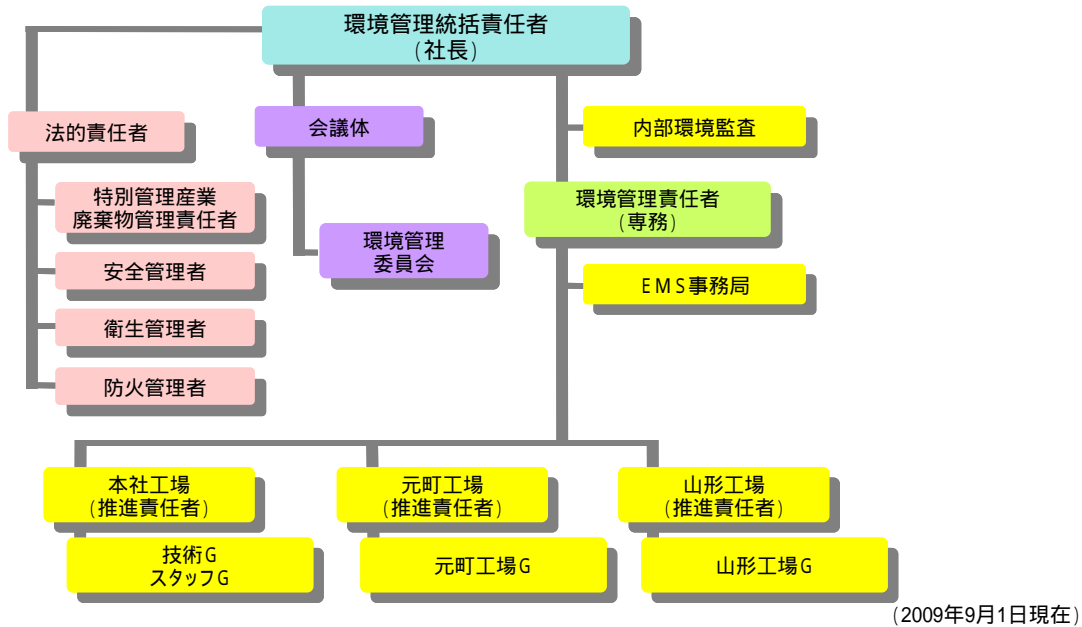



# 5

# 環境マネジメントシステム

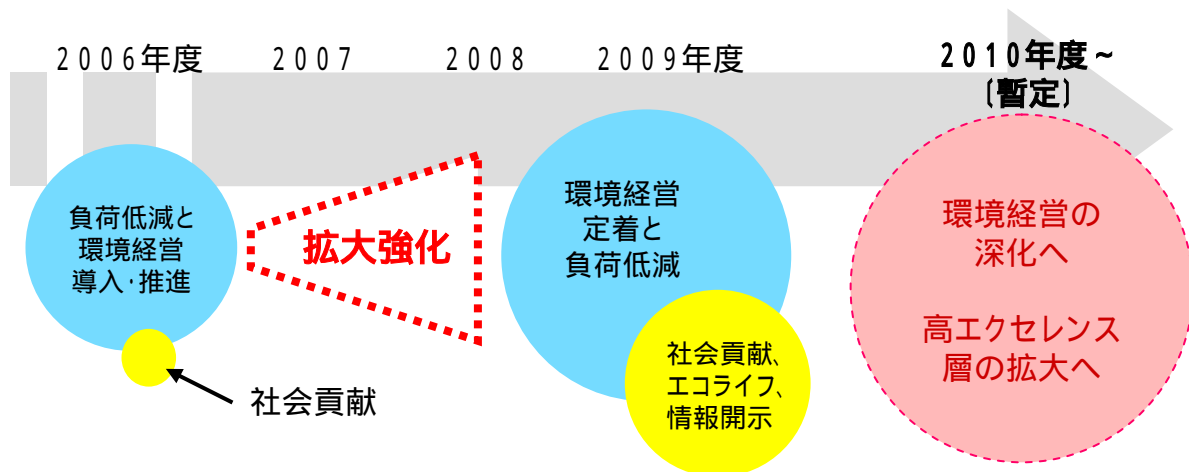
当社の環境管理体制は、2009年1月に一新し、環境管理統括責任者である社長をトップに新たに専務が環境管理責任者となり、活動を牽引しています。

## 環境管理体制



## 中期計画の基本的な考え

当社では2010年(暫定)までの中期計画をもとに活動しています。その要旨は、[環境経営を定着させ、深化に向けて事業と直結する目標を拡充し、併せて全社員の環境意識の更なる向上を図り、高エクセレンス層の拡大に繋げていく]です。



## ISO14001認証継続

2008年10月に第1回目の更新審査を受け、認証継続となりました。

適用範囲: 本社、本社工場、元町工場、山形工場  
 認証登録機関: Bureau Veritas Japan.co.,Ltd.  
 認証登録番号: 677923



当社は、中期計画に基づき2008年度の活動を推進してきました。その中で最も力を入れてきたのは環境配慮型製品の創出を代表とする環境経営の推進強化です。又、地域社会との共生を推し進めるため社外にも活動の幅を広げてきました。目標の設定では、昨年度に引き続き当社が重点目標と定めたものを改善目標とし、それ以外の環境目標の中で中期計画目標「2005年度～2007年度」を達成した項目を維持目標とし、活動の重点化を図りました。又、工場ごとに独自の自主目標を掲げ、活動の幅を広げています。

## 2008年度活動実績(報告範囲:本社、本社工場、元町工場、山形工場)

2008年度は全社目標として改善目標2項目、維持目標7項目を掲げました。(環境コミュニケーション目標は4件を1項目としました)結果として全項目達成しました。但し、大幅達成の項目では受注、売り上げ減の影響があったものもありました。

### 評価基準

○:中期計画をクリア ○:計画対比100%以上達成 △:95%以上達成 ×:95%未満

### 実績算出

実績値(%) : 2008年度計画対比 / ( ) は同原単位比(人員ベース)

項目	全社目的・目標		全社活動結果		関連ページ
	中期計画 2009年度	年度計画 2008年度	実績 (計画対比)	評価	
1 環境配慮型製品の提供	全製品環境 配慮型化の推進	製品アセスメント実施 24件以上 環境配慮型製品 登録12件以上	アセスメント31件 登録19件		P 7
2 地球温暖化ガスの排出削減	2005年度実績より 4%以上削減	2005年度実績より 2%以上削減	12.1% ( 9.1%)		P 9
3 廃棄物の排出削減 (一般廃棄物)	2007年度目標維持 継続	2007年度目標維持 継続	25.9% [26.0%]		P 11
	ゼロエミッション達成 リサイクル化推進	再資源化率80% リサイクル化推進	76.3%		P 11
4 環境リスクの低減	評価点を 基準未満とする	評価点を基準未満 緊急事態対応訓練 の実施	各工場訓練実施		P 12
5 オフィス用品のグリーン調達(調達率)	100%継続	100%継続	100%		
6 紙資源の削減(購入量)	2006年度 実績値で管理	2007年度 実績値で管理	15.6% ( 16.3%)		P 11
	2006年度 実績値で管理	2007年度 実績値で管理	10.0% ( 7.9%)		P 11
7 環境コミュニケーション	環境報告書発行	環境報告書発行 環境ニュース発行 (6回以上/年)	環境報告書発行 環境ニュース 12回発行		P 17
	美化活動 (原則1/月)	美化活動 (原則1回/月)	全工場 実施		P 19
	エコ生活推進	情報提供 (原則1回/月)	エコ生活情報 12回発行		P 17
	地域・行政への 協力	地域・行政への協 力1件以上	・仙台みやぎクルビ ス参加 ・仙台市まち美化サ ホーター登録・実施 ・環境配慮型事業所 認定		P 18

No.1～2:改善目標 No.3～7:維持目標

維持目標の管理は管理値を基準として5%増までは管理内とする  
再資源化率については管理値の範囲内であり、とした

# 7

## 環境配慮型製品の提供

これは当社の環境目標の中でも特に重要と位置づけているテーマです。その理由は、当社の計測、制御機器の製造という事業形態からも使用時、廃棄時までを考慮する設計・製作の思想の浸透が欠かせないものとしているからです。正に当社の事業活動そのものです。2008年度は前年度よりも更に高い目標を掲げて取り組んできました。その結果、売り上げ金額も年々増加し、2008年度は272百万円となり全社売上の11.7%を占めるまでに至りました。

### 環境配慮型製品事例



ファン制御基板

RoHS指令対応



アタッチメント基板

RoHS指令対応



監視装置

RoHS指令対応  
多品種対応  
架台にアルミフレーム使用



アダプター基板

RoHS指令対応



電気特性検査装置

RoHS指令対応



センサ検査機

コイル外径80%減による低消費電力化  
ワンボード化によりメンテナンス性向上





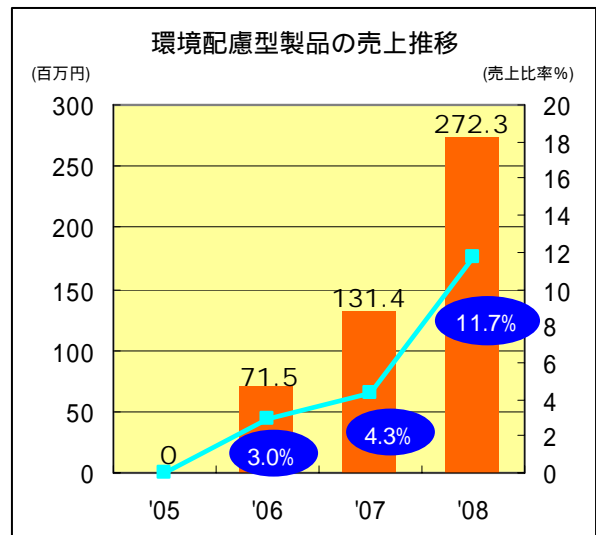
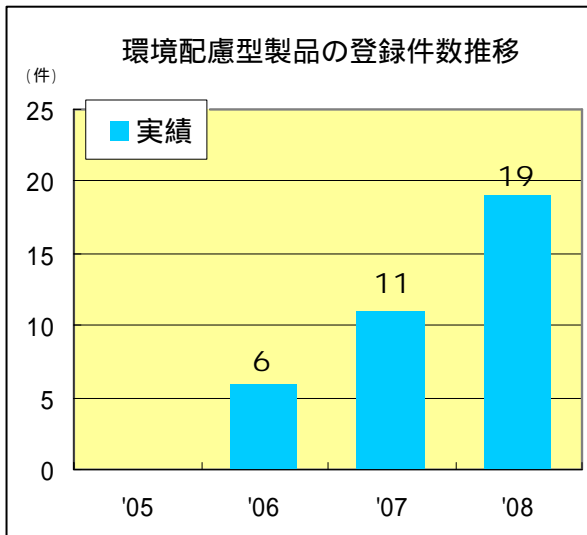
### 洗淨リフロー装置

有害物質の品目削減  
多品種対応  
架台にアルミフレーム使用  
ベース最小化

### RoHS指令禁止物質

- Pb(鉛)
- Hg(水銀)
- Cd(カドミウム)
- Cr6+(六価クロム)
- PBB(ポリブロモビフェニル)
- PBDE  
(ポリブロモジフェニルエーテル)

### 環境配慮型製品の推移グラフ



### 化学物質管理

環境配慮型製品を提供するに際しての大事な取り組みの一つは、製品に含有する、又は製品製造時に用いる有害化学物質を把握し回避することです。特に欧州RoHS指令や中国版RoHS指令などで禁止されている物質については、より厳しく管理する必要があります。

当社では製品アセスメント等により設計開発時点からのチェックを行い、顧客からの要求はもとより、自主的回避も積極的に行い、より環境にやさしい製品の提供に努めています。

又、混入・誤使用を防ぐために資材調達・管理にも十分注意を払っています。



RoHS指令対応部品は識別された専用のボックスに収納(本社・資材)

# 8

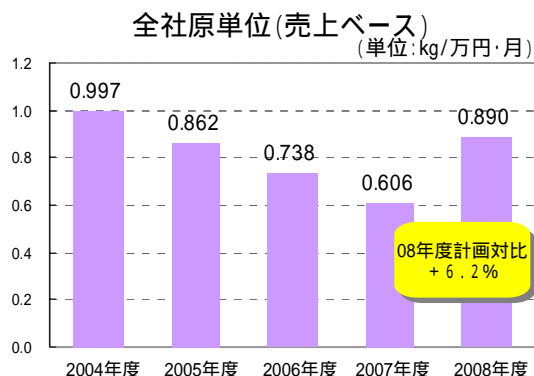
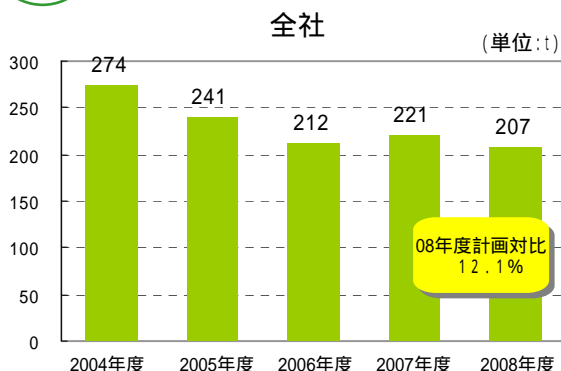
## 地球温暖化ガスの排出削減

当社は、事業活動に伴って生ずるあらゆる環境負荷の低減に努めていますが、特に地球温暖化の主因とされている地球温暖化ガスの排出削減については改善目標のひとつに掲げ、尚一層の削減を図るべく取り組みました。

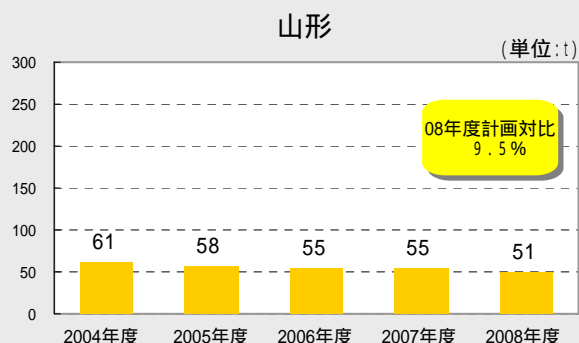
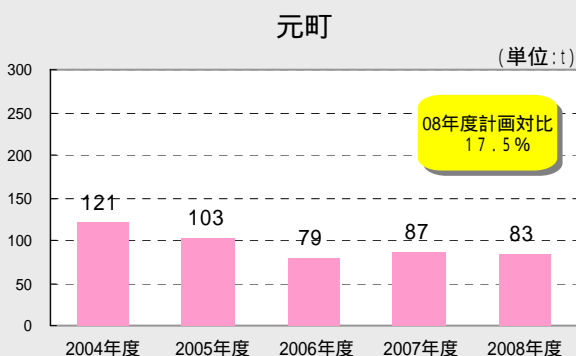
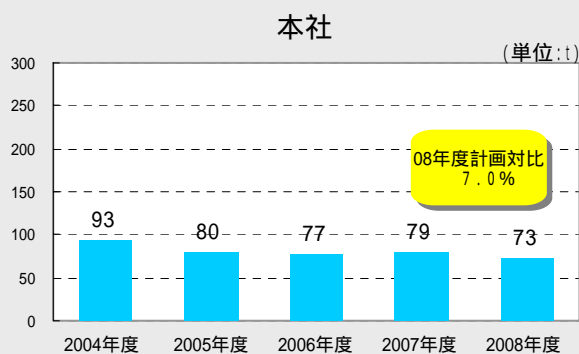
2008年度の二酸化炭素の排出量は207tであり、前年度比で6.3%の削減が図られました。



### 地球温暖化ガスの排出削減



### 工場毎の排出状況



### 自動車燃料使用量削減への取組み

自動車燃料の使用量については、2007年度において前年度比で8.1%増加し、2008年度の課題としていましたが、全社的にエコドライブ運動を推進し、継続的に社員への意識づけを行った結果、年度の前半と後半で平均燃費を約5.2%改善することができました。



エコドライブの啓蒙



第一回社有車燃費調査

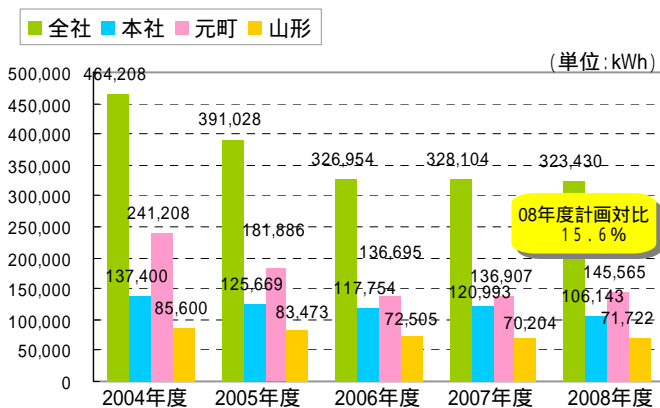


## 個別のエネルギー使用の削減結果

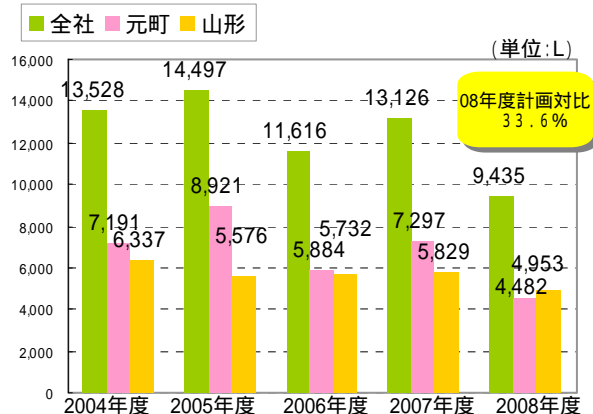
エネルギー源ごとでは前年度比で電気使用量1.4%減、灯油使用量28.1%減、自動車燃料4.6%減となりました。(計画対比では個別のグラフに記載しています)

電気使用量が微減の理由は2008年上期に特定製品の生産増が続いたことによると考えています。又灯油使用量が減少した理由は、逆に2008年下期に受注の大幅減に見舞われ、冬季の工場稼働率が下がったためと見ています。

### 電気使用量の削減



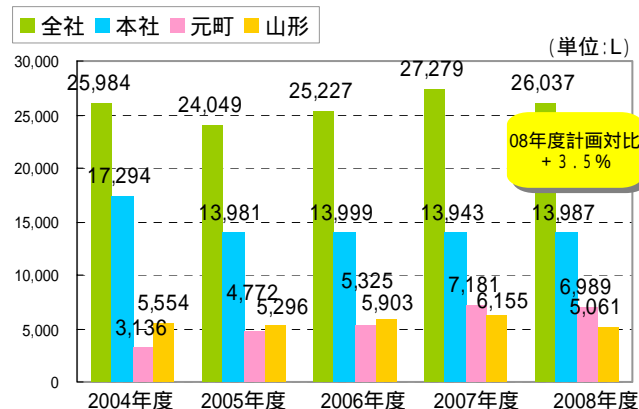
### 灯油使用量の削減



### 仙台市[エコドライブ・アイドリングストップ運動]への参加

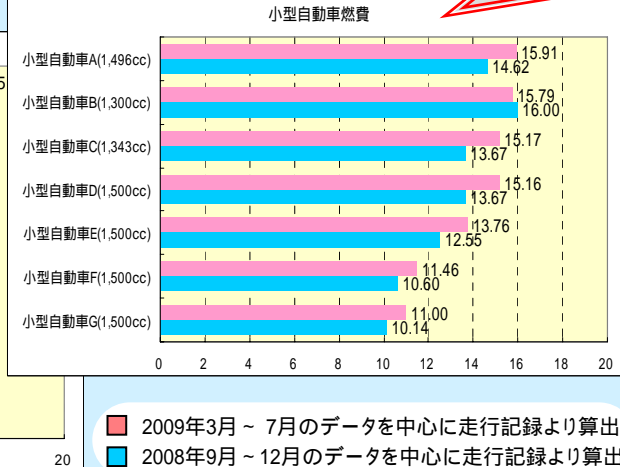
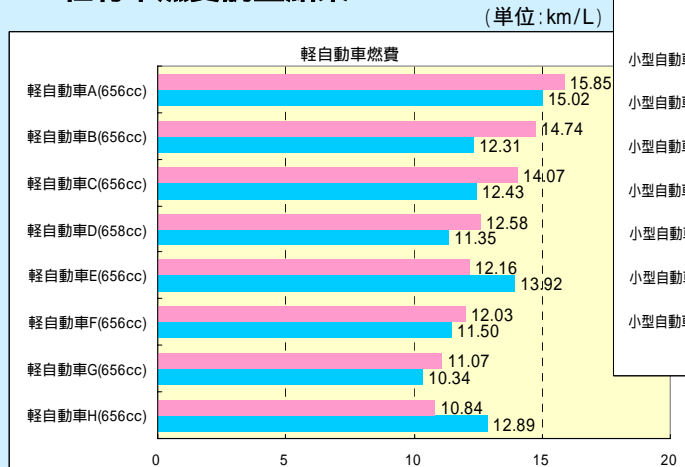


### ガソリン(軽油)使用量の削減



第一回目 第二回目  
5.2%向上

### 社有車燃費調査結果



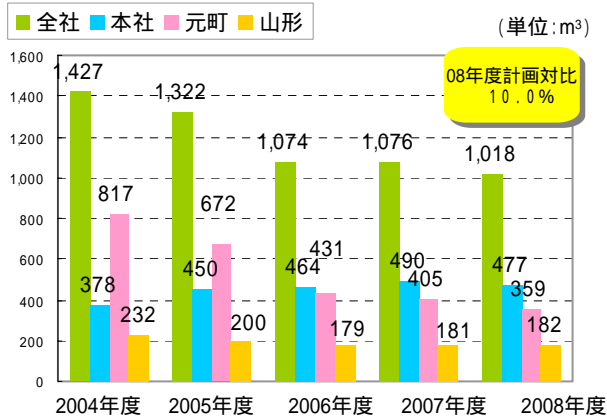
2009年3月~7月のデータを中心に走行記録より算出  
2008年9月~12月のデータを中心に走行記録より算出



## 省資源活動

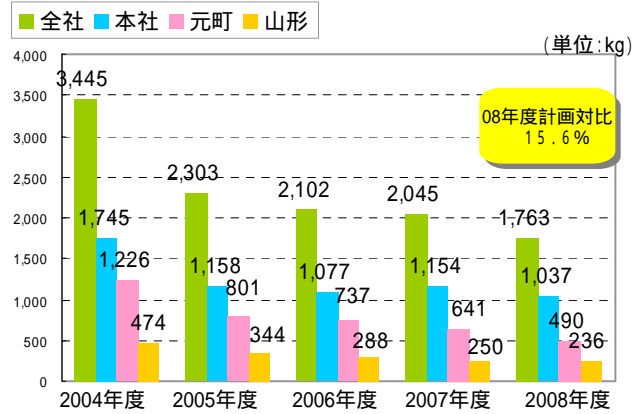
### 節水活動の推進

2008年度の水道使用量は1,018m<sup>3</sup>で、前年比5.4%削減されました。当社の場合、水の用途はほとんど生活系での使用であり、一人当たりの使用量では0.66m<sup>3</sup>/月とかなり節約している状況が続いています。



### 紙資源の削減

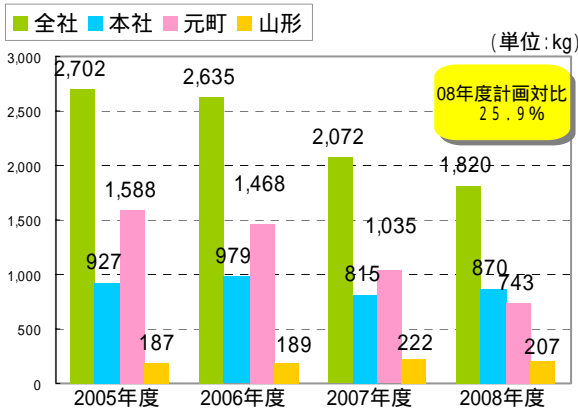
2008年度のコピー用紙等の紙使用量は1,763kgであり、前年度比13.8%の削減となりました。社内でのウェブ化は更に着実に進んでいますが、受注・引き合い件数の大幅減により設計業務での使用が少なくなったことが大きい要因です。



## 廃棄物の排出削減

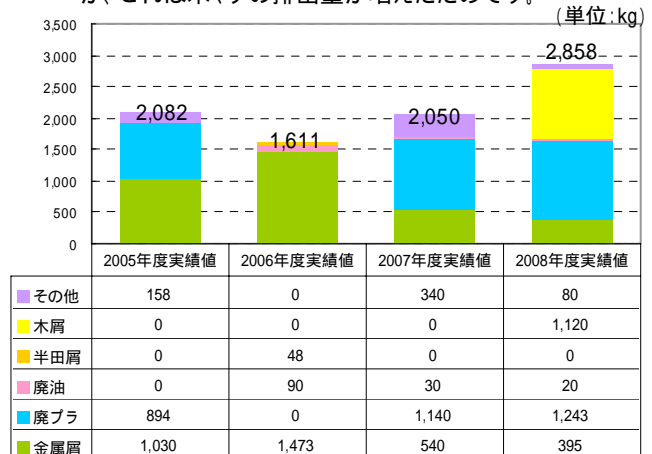
### 一般廃棄物

2008年度の一般廃棄物排出量は1,820kgとなり、前年度に比較して12%減となりました。昨年度の施策としては分別ルールの見直しと周知徹底を図るための啓蒙活動を全社的に行いました。又先進モデル企業の見学会も開催し、優れた活動を体感しました。



### 産業廃棄物

2008年度の産業廃棄物の排出量は2,858kgでした。2007年度に比べて800kg程度多くなりましたが、これは木くずの排出量が増えたためです。



2008年度実績は2008年4月～2009年3月排出量をマニフェスト管理状況として自治体に届けたもの



分別バトル結果の掲示



分別ルールの説明会(本社)



分別ルールの説明会(山形)



## 環境活動先進企業様の見学

### リコー東北様



取り組みの説明



### NECトーキン様



環境掲示板



廃棄物保管場所

# 10

## 環境リスクマネジメント

### 緊急対応訓練

当社の著しい側面として、灯油タンクからの敷地内外への漏出を挙げています。2008年度は給油時等での事故を想定して緊急対応訓練を行いました。



元町



山形



### 廃棄物収集運搬・処理業者現地確認

当社では、委託している産業廃棄物収集運搬業者及び処理業者を計画的に訪問し、保管状況、作業状況、法対応状況等の適切性を確認しています。



廃棄物処分場A



リサイクル処理場B



リサイクル処理場C

# 11

## 環境教育

当社は、年度環境教育訓練計画のもと種々の内容の教育を行っています。

### 環境教育の実施

教育名	実施部門	実施日	受講者数
経営層・幹部教育	品質管理課(ISO推進)	全社 7月22日	3名
管理職・一般社員教育	品質管理課(ISO推進)	本社工場 7月22日 元町工場 7月16日 山形工場 7月14日	118名
新入社員教育	品質管理課(ISO推進)	2009年 4月6日	1名 5名
専門分野別教育			
特別管理産業廃棄物管理責任者教育	外部機関	山形工場 7月 11日 元町工場 9月 3日	2名
製品アセスメント勉強会	品質管理課(ISO推進)	本社工場 4月10日 元町工場 3月23日 山形工場 3月26日	技術・設計者対象
内部環境監査員フォローアップ教育	品質管理課(ISO推進)	全社 8月 19日	8名

・上表において、各工場の対象者に対して一括して実施したものを「全社」としました

2008年  
7月

### 階層別一般教育

階層別教育は、前年度の環境活動を振り返ると共に今年度の実施内容を全社員に理解してもらうことを目的に毎年7月に定期的に行っています。2008年度は、これに加えて安全衛生教育も含め、環境安全衛生研修として実施しました。



本社



元町



山形

2009年  
4月

## 新入社員教育

2009年4月に5名に新入社員が入社しました。地球環境問題や環境への取り組みの重要性、当社の環境活動などを説明しました。



2008年  
8月

## 内部環境監査員 フォローアップ教育

内部環境監査の質の向上及び監査レベルのアップを目的としてフォローアップ教育を行いました。



2009年  
3,4月

## 専門分野別教育

2008年度は、設計・開発部門の技術員を対象として製品アセスメント勉強会、特別管理産業廃棄物管理責任者教育(外部研修)などを実施しました。

### 製品アセスメント勉強会



本社



元町

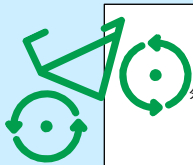


山形

2009年  
7月

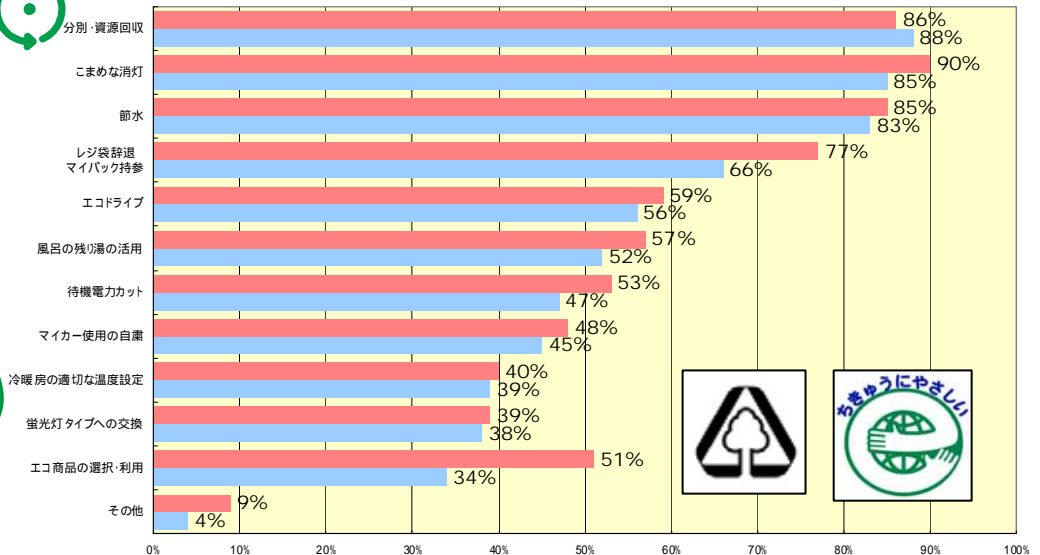
## 社員環境意識調査結果

前年に引き続き2008年度も社員の意識の程度を確認するアンケート調査を行いました。調査は社内外に関わらず環境を意識した行動をとっているか或いは心がけているかを問うものですが、昨年に比べてほとんどの項目でポイントアップしていました。特にエコ商品の選択、利用の項目は大幅に向上しました。



社員の環境意識アンケート  
(昨年との比較)

■ 08年 ■ 09年



(2009年7月実施)

# 12

# 環境監査

当社は、3つの柱からなる監査体系をもって環境マネジメントシステムの維持・向上を図っています。

## 監査体系

監査の種類	監査の内容	実施
ISO14001更新審査	外部審査機関による ISO14001更新審査	年1回
内部環境監査	当社認定監査員によるパフォーマンスを含む ISO14001適合監査(全職場)	年1回
環境管理責任者パトロール	環境管理責任者を隊長とする環境、品質、 5S、安全を含めての総合監査	年1回

## 監査結果

### ISO14001更新審査

2008年10月に受審した更新審査では不適合なし、改善の機会4件でした。

指摘項目	指摘件数	是正改善措置
要求事項を満たしていない事項 (不適合事項)	0件	-
改善を要する項目 (改善の機会)	4件	是正完



トップインタビュー風景



現場審査(本社)



部門審査(元町)



部門審査(山形)



## 内部環境監査

2008年8月に実施した内部環境監査では不適合4件、アドバイス17件の指摘がありました。

受信部門	実施時期	不適合件数	アドバイス件数	是正状況
環境管理責任者 EMS事務局	8月20日	0件	2件	是正完
本社工場	8月20日	0件	3件	是正完
元町工場	8月20日	3件	5件	是正完
山形工場	8月22日	1件	7件	是正完
合計	-	4件	17件	-



環境管理責任者



山形

## 環境管理責任者パトロール

2008年9月に行った環境管理責任者主催のパトロールでは13件の指摘がありました。

受信部門	指摘件数	是正状況
本社工場	4件	是正完
元町工場	4件	是正完
山形工場	1件	是正完
全社共通	4件	是正完
合計	13件	-



元町



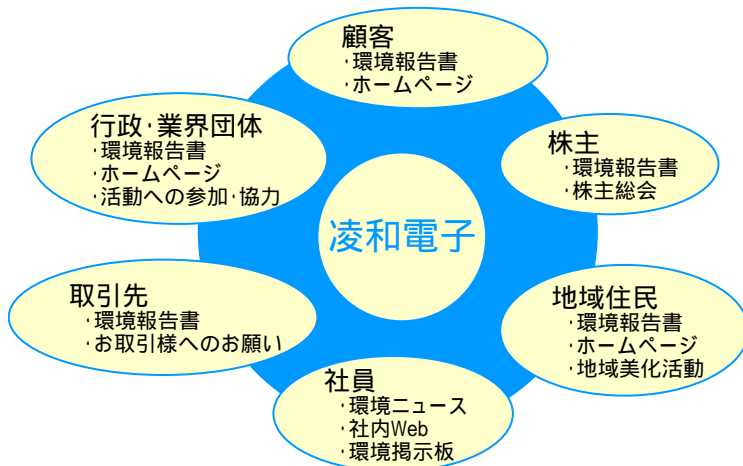
山形

# 13

# 環境コミュニケーション

当社は、ステークホルダーの方々に環境に関わる情報を発信しています。今年度は、社員の環境意識の向上と家庭生活での実践を目途として新たに毎月「環境ニュース特集号」(エコ生活情報)を発行しました。

## 当社のステークホルダー



## 情報発信

### 環境報告書

当社の環境活動を広く知ってもらうことを目的として環境報告書を発行しています。今回は第4回目となります。



環境報告書2009

### 環境ニュース (エコ生活情報)

環境ニュースは、社員への情報提供として最も効果的な方法であるので、月1回の発行を継続しています。



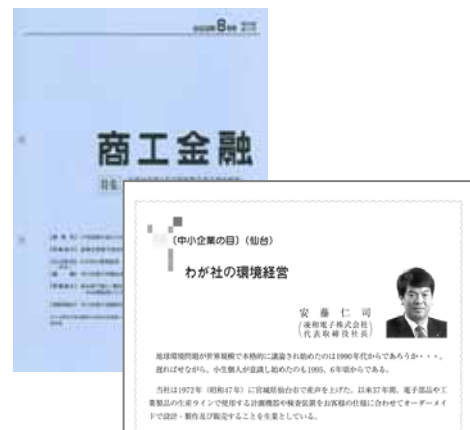
環境ニュース



エコ生活情報

### 業界誌への寄稿

当社社長が「わが社の環境経営」と題して取り組みの内容を紹介しました。



### ホームページ

当社のホームページに環境報告書や環境コミュニケーション情報を開示しています。



凌和電子ホームページ

### 社内イントラネット、掲示板

社内イントラネットに環境のコーナーを設け、環境規定類、帳票類、環境活動実績、環境情報、環境に関わる議事録等を開示しています。

又、工場ごと、職場ごとに環境掲示板を設け、「活動の見える化」の強化を図っています。



社内Web

環境掲示板(本社)

## 地域、行政活動への参加、協力

### 仙台・みやぎクールビズ宣言2009

当社は毎年[仙台・みやぎクールビズ宣言]に参加しています。2009年6月に行われたキックオフ大会では昨年同様、スタッフの一員として会場の事前準備や運営を支援しました。



当社でのポスター掲示(元町)



宣言書



キックオフ大会会場



作品の展示風景

### エコにこオフィス

当社は昨年環境配慮型事業所の認定を受けましたが2008年度も継続してグリーン購入やごみの減量等を行っています。



営業課分別スペース(本社)



ステッカー



環境配慮型事業所認定書

### 広瀬川ボートくらぶへの支援

本社工場近くを流れる広瀬川に今年8月20年ぶりに市民の憩いの場として復活した貸しボート業(NPO法人運営)立ち上げの支援を行いました。



宮沢橋付近



# 14

## 地域貢献・工場独自の活動

当社は、工場ごとに地域社会への貢献活動として定期的に工場周辺道路の清掃活動を行い、美化に努めています。又、昨年同様全社共通の目標に取り組むと同時に、工場ごとに独自の目標を掲げ、活動しています。

### 本社工場

「仙台市まち美化サポート」に登録、参加し3年目となりますが、2008年度も年6回南材木町、舟丁近辺の清掃及び降雪時の除雪を行っています。又、仙台市が進めているマイバック運動に協力し、昨年同様近所のスーパー「八百ふじ」さんのレジ袋削減運動並びに食品トレイ回収運動に参加しています。

#### 仙台まち美化サポート活動



認定書



清掃の様子

#### レジ袋削減運動・トレイ回収運動



工場内のトレイ回収箱

店頭に設置された  
トレイ回収ボックス



八百ふじさん

### 山形工場

本来業務にも繋がりますが、電子機器、装置等の修理事業件数アップの目標を掲げ、リユース、リサイクルのお手伝いを行っています。

#### 修理事業件数のアップ

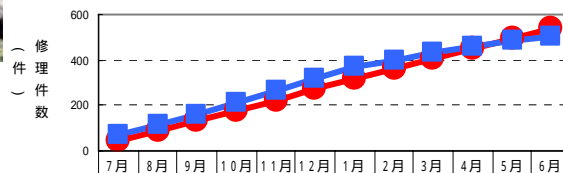


修理作業の様子

#### 周辺美化活動



清掃の様子



修理件数の推移

## 元町工場

工場のある「仙台工業団地」主催の共通駐車場の清掃・草取り活動に参加しました。  
又、工場内緑化の推進として地植えやプランターの増設を行いました。

### 清掃・草取り活動の参加



### 周辺美化活動



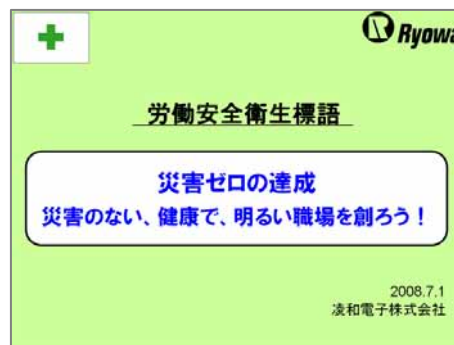
### 工場内緑化の推進



# 15

# 安全衛生管理

当社は、[災害ゼロの達成(災害の無い健康で明るい職場を創ろう)]をモットーに安全衛生管理活動に取り組んでいます。2008年度は更なる活動の強化を図るため安全衛生管理体制を一新し、「安全衛生活動計画」を策定し活動を進めています。これまで休業災害はもとより不休災害も発生していません。



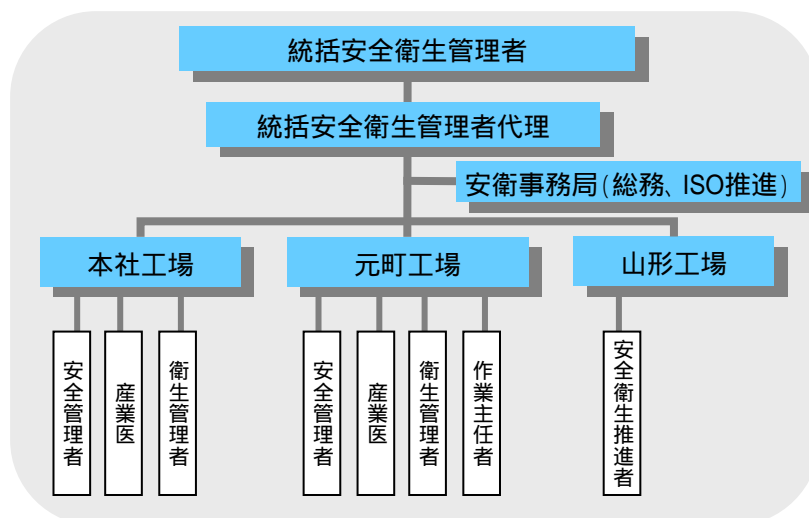
## 安全衛生活動計画と実績

2008年度の活動計画を策定しました。重点実施項目として安全衛生管理体制の確立、安全衛生意識の啓発・教育、健康維持・増進活動、職場の作業環境整備を掲げ、各々具体的活動項目を設定し実施しています。

重点実施項目	主な実施内容	実績評価
安全衛生管理体制の確立	組織体制見直し(管理組織・委員会組織)	
	安全衛生計画の作成	
	安全衛生委員会の開催	
安全衛生意識の啓発・教育	安全衛生教育	
	消防訓練の実施	
健康維持・増進活動	健康診断の実施、受診の徹底	
職場の作業環境整備	危険性・有害性の調査	
	安全パトロールの実施	

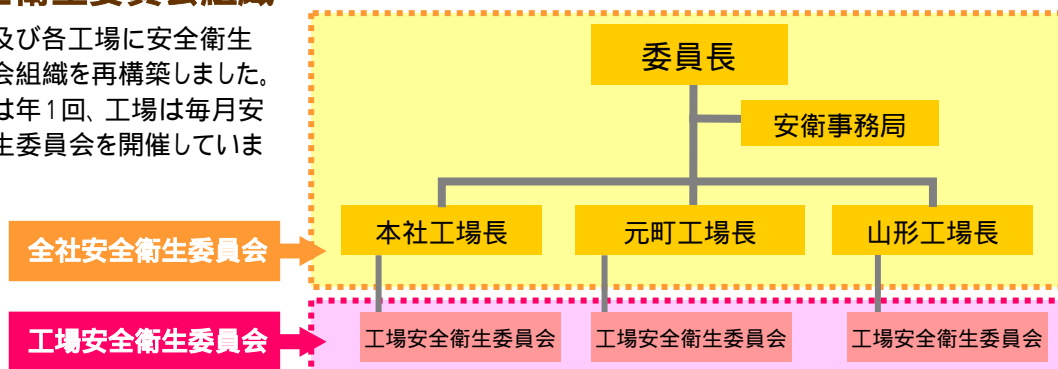
## 安全衛生管理体制

社長を統括安全衛生管理者とする安全衛生管理組織を構築しました。



## 安全衛生委員会組織

全社及び各工場に安全衛生委員会組織を再構築しました。全社は年1回、工場は毎月安全衛生委員会を開催しています。



本社



元町



山形

## 安全教育

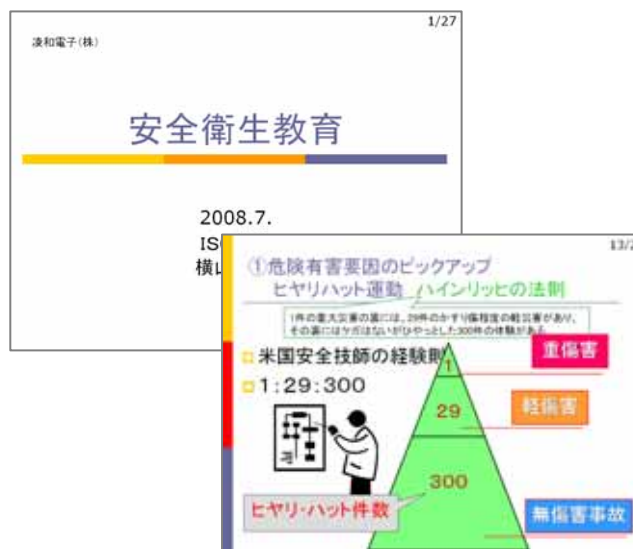
当社は、年度安全衛生管理活動計画に基づいて安全教育を行っています。2008年度は7月に各工場で開催しました。



本社



元町



安全衛生教育テキスト

## 健康診断

当社は、毎年定期健康診断、生活習慣予防診断、特殊健康診断(鉛、VDT)を実施しています。2008年度の定期健康診断において若干の未受診者がありましたが、今後は100%を目指します。

工場	定期健康診断 受診率	備考
本社	98%	受診者50名 / 対象者51名
元町	100%	受診者43名 / 対象者43名
山形	96%	受診者26名 / 対象者27名

## 防火訓練・避難訓練

工場ごとに火災や地震を想定した訓練を実施しました。



## 安全パトロール

5S委員をメンバーとして隔月で安全衛生パトロールを実施しています。



本社



元町

before



after



指摘箇所是正前・是正後(本社)

## 危険性・有害性の調査

環境、安全設備・施設リスクチェック表を用いて危険性・有害性の評価を行いました。指摘事項は各工場の安衛委員会で議論され、改善されています。

環境、安全設備・施設リスクチェック表					品質管理課 ISO推進		作成日:2009年4月20日		作成者:永峯沙弥佳 補足:横山	
○印:規定に基づく日常管理対象					チェック日	2009.4.15-16	チェック者	永峯沙弥佳		
No.	設備・施設名	設置場所	必要な管理者等は決まっていますか	スケジの破損、たご足配線はないか。記録は固定されているか	安全装置・安全カバーは設置されているか	安全装置は正常に働くことを確認しているか(確認できる場合)	保護具は正しく用意されているか	定期的には検査されているか(点検表の有無)	手順(ルール、注意事項等記載)はあるか	予想される安全上のリスクはあるか(リスク評価の番号を記入)
1	コックリット 1.5KW	本社工場	○	○	○	-	-	×	(点検表があるが未記入)	2
②	廃棄物保管所	本社工場	○	-	-	-	-	次回確認	○	5.8

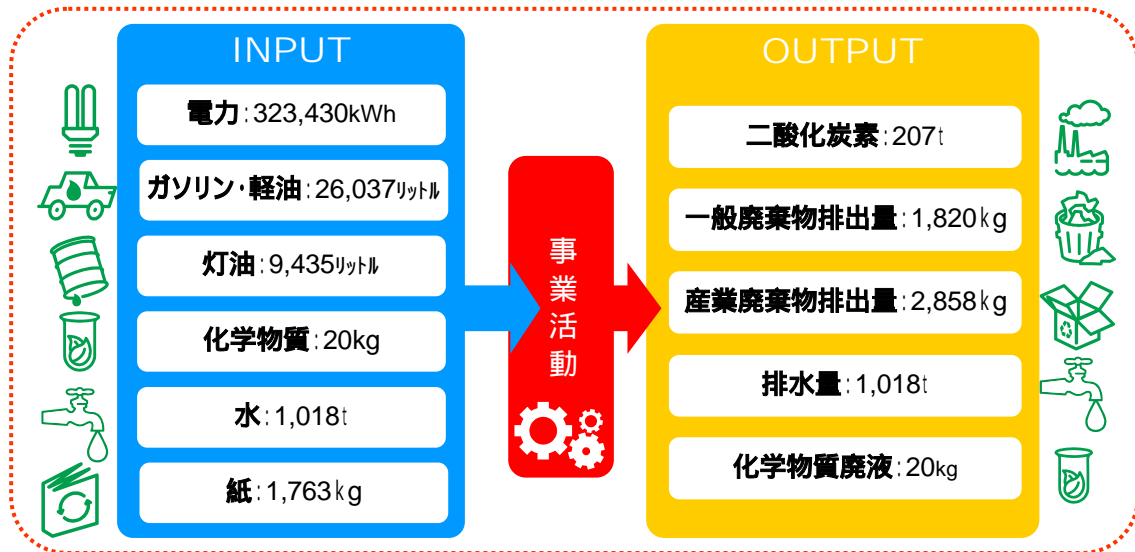
チェックリスト



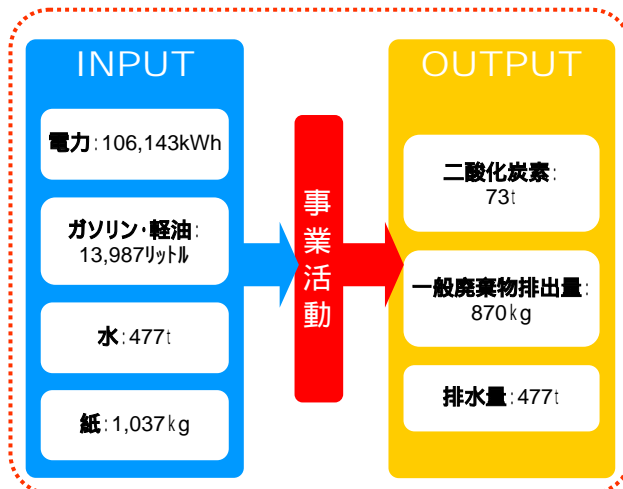
# 16

# 環境負荷マスマバランス

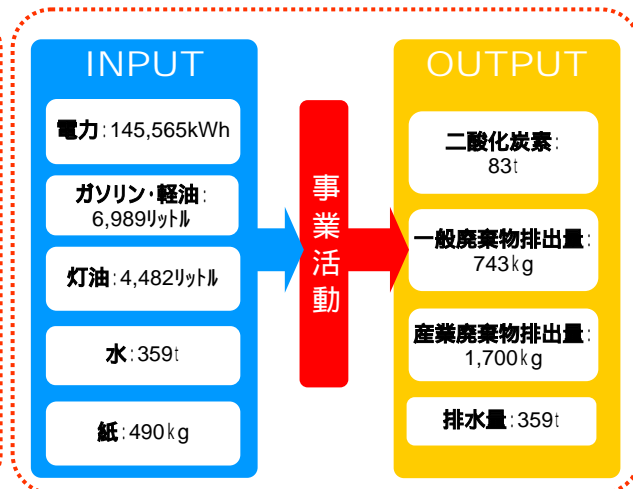
## 全社



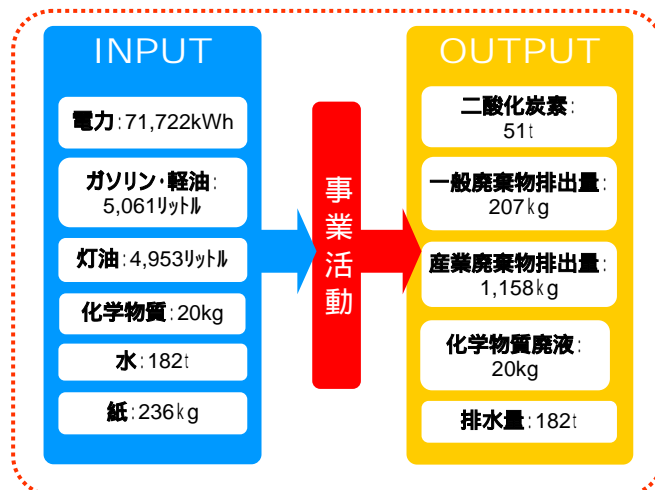
## 本社



## 元町



## 山形



---

凌和電子株式会社

〒984-0805 宮城県仙台市若林区南材木町48番地

ホームページ : <http://www.ryowa-electronics.co.jp/>

発行 : 2009年9月

次回発行予定 : 2010年9月

お問い合わせ先 品質管理課 ISO推進

Tel : 022-266-4188 (代表)

Fax : 022-268-1906

---